

日本語教育実習 前期レポート

今学期、初めてこのように長い時間、日本語を教える実習をした。そこで私は、教え方はもちろん、日本語についても学ぶことができた。

まず、全体的な言動の変化について。ビデオを見返してみると、本当に様々なことが成長していたと感じた。初めは学習者を見ることができておらず、テキストばかりを見ていた私が、7月の最後の実習になってくると学習者とアイコンタクトをしながら楽しく授業をしていることに一番驚いた。演習中は、成長していることに全く気が付かなかつたが、このように初めから最後までを見てみると、とても変わっていた。アイコンタクトだけでなく、会話を広げることもできるようになっていた。初めは、教えることだけをしていたが、会話を広げて学習者とコミュニケーションをはかることもできるようになり、堂々として授業を進めていたと思う。

また、実習をしていて、戸惑いや、困惑もたくさんあった。印象深く残っていることが、2つある。1つ目は一番初めの授業実習で智恵梨さんと二人でトップバッターを務めたときのこと。初めての实習だったため、準備と二人での話し合いが足りずに本番を迎えてしまった。本番になると案の定ふたりとも困惑した。役割分担を決めていなかったため、教える際には二人の声が被ってしまい、かえって分かりにくい説明になってしまっていた。また、説明不足なうえ、学習者が分かったかどうかは聞かずに一方的な授業になっていたとも思う。ビデオを見ると学習者の反応もあまりよくなかったため、学習者側も理解できていなかっただろう。もしこの時の授業を評価するならば100点満点中の10点くらいだ。この失敗から分かったことは、事前準備の大切さである。もちろん、一人で授業をする場合も事前準備は必ず必要であるが、二人で授業をする場合は、更に念入りに打ち合わせをすべきだと強く感じた。2つ目は、学習者から「ここが分からない。」や「この意味は何？」などと質問を受けた時だ。特に文法事項を尋ねられると、母語である日本語なのになぜか難しく感じて説明が上手くできずに困惑した。その時に思ったことが、普段使っている日本語なのになぜ文法を説明することが難しいのだろうと思った。わたしは日本語の文法を教える勉強をもっとすべきだと感じた。また、できるだけ英語を使わないようにしていたが、日本語で説明しようとしても、簡単に説明することができず、なかなか伝わらなかった。そのたびに戸惑いを感じていた。最終的には英語のひと単語で説明してしまい、特にひらがな・カタカナを教えているときによくこのシチュエーションがあった。しようがなく英語で説明しようとしてもその英単語を知らないことがあったため、とてももどかしかったことを覚えている。それが私の英語の勉強のモチベーションにもつなげた。まずは日本語で説明できる日本語教師になりたい。普段私たちは不便なく使っている日本語は難しいと痛感した。

そして、わたし後期の YMCA での実習までの課題が2つ見つかった。1つ目は反応である。私は、反応が薄いと感じた。学習者が正解しても不正解でも「はい。」などと同じような薄いリアクションをしていた。リアクションが薄いと、学習者を不安にさせてしまう。また学習者も発表をする気がなくなると思う。良い雰囲気 of 授業を作っていくには、教師のリアクションも重要であるため、後期の実習までにはよい反応ができるようになっておきたい。2つ目は、イントネーションをなおすことだ。私は北九州に来る前から、私なりの標準語を使っていたため、方言や間違ったイントネーションをあまり使わないほうだとばかり思っていた。しかし、今回の実習でいかに違ったイントネーションを使っているかを知ることができた。思った以上にイントネーションが違ってとても驚いた。教師が使うイントネーションで学習者は文または単語などを覚えるため、気を付けて授業をすべだと感じた。また、文を声に出して練習するとき、例えば、「机の上にケータイがあります。」の文を練習するとする。この一文を文節に区切って練習をしたのだが、区切ってしまうとわたしは語尾や助詞のイントネーションをあげてしまう癖があることに気がついた。この文の場合、「机の上に（↑）、ケータイが（↑）、あります（↑）」のように区切った最後の部分を無意識のうちにあげて発音していた。ビデオを見返すと、私が言った後に学習者は、私のように語尾を上げたイントネーションで言っていたため、これも直さなければならない課題である。

後期には、YMCA での実習がある。学習者の人数や国籍なども違い、全く違った雰囲気だと聞いているため、とても不安ではあるが、前期で見つけた課題をしっかりと克服し、よかったところはそのまま活用できるよう、後期の実習に挑みたいと思っている。また、前期の実習の達成感以上の達成感を楽しみに、一生懸命実習に取り組みたい。